

第12回倉吉市教育委員会 定例会 会議録

- 1 日 時 平成27年10月21日（水）午後3時
2 場 所 倉吉市役所 第3会議室
3 出席者 14人（教育長、教育委員4人、事務局9人）



会 議 の 経 過

- 1 開 会 午後3時

2 協議事項

(1) 倉吉市立小・中学校の適正配置等について

学校教育課長 （資料に沿って説明）

教 育 長 本来ならばこれを協議してから説明会にというのが順序だが、いかがでしょうか。

委 員 灘手については、確かに4校（灘手・社・高城・北谷小）が、高城・北谷が残って二つが統合するというのはちょっと現実的ではないような気がする。その中に今度は灘手まで来ると多すぎるのではないかという人数になってくるので、もし明倫・成徳の方（との統合を）ご希望であれば、その方が結果はいいのではないか。

教 育 長 ある程度中学校を見据えるということもありましたね。

委 員 例えば社小学校の統合の場合もスクールバス等の対応は考えるのか？

学校教育課長 第4ブロックの説明会で、関金・山守の状況、スクールバス、路線バス、昨日した説明をさせていただいた。その中で北谷のPTA会長さんが、前回の説明の時にはスクールバスということを明確に言わなかったとおっしゃった。その当時はまだスクールバス大丈夫ですと言える状況になかったため、十分検討させていただいて、と申し上げていたが、北谷のPTA会長さん曰く、スクールバスも大丈夫だ、とひと言あればかなり地域の方の意見も変わってくると思

う、中には統合した学校に親が責任を持って送らないといけないのではないかという考え方をしておられる方もあるとのこと。関金・山守の例を引き合いにだして、路線バスの存続といった気持ちがあったり、スクールバスが本当にいいかという論議もあったりして、最後は統合準備委員会の中でどういう形が子どもにとって一番いいのかを考えながらしていただいている、とご紹介した。

委員 高城地区の自由筆記欄に横田地区の建設を回避すれば問題解決、とあるのはどういう取り方をすればいいか？

学校教育課長 市の提示した草案が、高城・北谷を一緒にして（横田地区の）久米中校地に統合新校を増築した形で作るとなっている。横田は社地区であり、横田の方は社小を今は選択しておられるが、目の前に新しい学校が出来るかもしれないので、社小学校を増築して統合すればそういった心配がなくなるというご意見だと思う。

教育長 いろいろな意見があるにしても、今回は別案で市民からの意見を集約した格好で出しているもので、議論が焦点化されるのではないか。灘手の方は東中に行きたいという思いをもっておられる方が多いということになると、統合しない、ではなく、そのグループで考えてもらうのはどうでしょうかというところ。

委員 例えば灘手地区の方が子どもを送り迎えするときに社の方に行くのか、こちら（明倫・成徳地区）に来るのか、勤め先がこちらの方が多く親は便利だろうし、保護者の感覚で言うと、今までの経緯もあり、兄弟が行っている東中、という考えが多分出てきて、地域の方より保護者の気持ちが強いのではないか。一クラス5人以下なら統合もありと書いておられるが、32年度灘手（推計）30人ということは、（1学年）5人、だからいくら少人数がいいといってもここまで減るといふ数字は大きいと思う。今のままでいいが今のままでは済まなくなる、ではどちらに行こうかという話になると思う。

教育長 昨日の話（河北中校区適正配置説明会）の中ではもう少し関金の統合の準備のことを知りたいという意見がありましたね。

委員 昨日の印象を言わせてもらおうとよかったと思う。河北だったからかは、わからないが、大分煮詰まってきたと、来られていた方の声も、考えていただいているなど、やらなくてはいけないというのを感じた。来年の4月に始まる関金の期限が見えてきたので、高城・北谷・社、灘手も入るかどうかわからないが、見えてくると、当然成徳・明倫も見えてきて、そういったステップが見えてきたかと思う。

教育長 昨日のアンケートの結果は？

学校教育課長 担当者から2点聞いたのは、やはり関金・山守のことをもう少し説明してはどうか、そうすればもう少しわかるということだった。20分説明の予定が30分になってしまい、視察などの話も本当は入れたいと思っていたが、今回のご意見を聞くと、そこを丁寧に説明するとなんとなく見えてくると、具体的にスクールバスのことや、放課後の子どものことなど動きが分かってこられるのでは、

という印象を持っている。もう少し整理したい。

それから、文科省は手引きでこう出しているが、では倉吉市としてはどういう方針なのかという意見があった。文科省の手引きは、私たちが考えていたことが大体あると説明したが、そのあたりをもう少し丁寧に、概ね私たちの意向と一緒にという言い方をさせていただいた方が良かったと思っている。

委員 それで文章になった方が良いですかね？例えば文科省から。言われたことは概ねだし、概ねでは具体的に見えないということだったのでしょね、多分。それで20人の2クラス、それは倉吉の地域としては（どうなのか）、ということと言われたが、その辺がなかなか、言われたのだけれども理解できていなかったのかもしれない。

委員 出されたものに対応するものとして、例えば規模の適正化というところの学校規模の標準12から18学級というところを、倉吉だとこれを6クラスとか、距離のこととかを具体的に倉吉市に当てはめるとこうしていると言うと、すっと入るのかもしれない。そこのレベルはもういいかなという気もしないではない。倉吉市はこう行くと言っているんで、ただ、文科省もこう言っていた、ほぼ一緒だということなので、ある意味、見て置いてくださいくらいでいいのかと。

委員 説明時間をとってもいいのではないですか。そんなに端折らなくても。

委員 関金の統合が見えて良くなってきたというのもやはり、漠然とした不安感があり、不安がこうなる、と見えてくると自分たちに当てはめやすい。現状が分かると不安も解消すると思うので、こういう段取りで進んでいくとか、バスが通うときにこうなるんだとか、ひとつひとつの不安が解消までいかなくとも、もやもやしていたものが分かるだけでもいいかと思うので、現実の動きを説明していくと、統合というのはどういうことか分かり易い気がする。具体例をどんどん出される方が良いと思う。

委員 この図面をどのタイミングで変えているのですか？まだ高城・北谷は久米にしか（2校での統合で）、どういうタイミングで提案していくのか考えていかないと、多分北谷の方も高城だけと一緒にになって久米中の辺りに校舎を建ててというイメージはそんなにない。薄いのではないかと思う。

委員 （そういうイメージは）ないと思います。

学校教育課長 今回は、倉吉第1小学校が、成徳・明倫・灘手を含んだ四角、その下に社・高城・北谷の四角の中に社小へ統合という、市民の方からいただいた案という意味合いで追加しているが。

委員 もう少しインパクトを固めていかないと、どのタイミングでこうという。

教育長 28年の3月に倉吉市の教育振興基本計画の中で、倉吉市立小学校適正配置推進計画を発表する、ここだと思う。

委員 久米中に6クラスは空いてないですね？

教育長 元々は入れたが、いろいろなことに使っている。久米中に小中一貫を、と思

っていたのは、小学校の職員室と保健室、小学校の体育館は兼用でもいけるということだが、武道館があるので、小学校の第2体育館的なものにするという構想をしていた。理科室や音楽室は共有でと想定しながら、小中の学校のイメージを作ったが、今それを通り超えて社にとっているもので、そちらの方がいろいろな課題にも対応できる。

アンケートを見ていただくと、スケジュール感を入れている。いつ頃までに開校したらいいですかという問いに、速やかに、3年後、5年後、10年後と、それから具体的な人数も。だいたい、規模が20から30と、3年後くらいまでに目途をつけなくてはいけないのではという意見があった。

委員 このアンケートは保護者のアンケートですね？

教育長 そうです。そろそろ動きとして、決断の材料は5校区のアンケートを集めていく、そして倉吉市全体として推進していかないといけないという答えが多かったのですから、「反対のところは仕方ない」というのはないということで、進めていく材料になってきたのではないかと思う。

委員 これは各中学校区全部、今第4校区1，2，3とこれからとられるのか？

学校教育課長 あくまでも第4ブロックの中の勉強会で同じアンケートを作ってやろうという動きの中で作られており、こちらはあまり関知していない。

委員 なるべくこういうものをとっていただけるよう方向付けしていただきたい。保護者がどう考えておられるかがよく分かる。

委員 PTAからの発信のアンケートが、本当はいいのかもしれない。

教育長 上小鴨も条件が提示してないので、今回数字が出ているように、数年後には複式学級になるということをきちっとお話した上で、アンケートを取ったらずいぶん違うと思う。やはり上小鴨は90人で人数が減らない前提を頭に持っておられるので、現実をお知らせして判断を求めなくてはいけないのではないか。

昨日聞いてみて、やはりみなさん頷かれていたので、(スクールバスなどの統合の実情を)もう少しメインにした方がいいのではないか。

学校教育課長 わかりました。

教育長 そうすると確かに不安が解消できると思う。これをある程度最初に持って行っていいかもしれない。

委員 もうひとつ、(1学年の人数が)ただ10人とか5人とかではなく、将来の分もだいたい分かっているわけだから、男女比も入れると考える材料になるのではないか。クラス見たときに十何人の中に女3人とかいう状況がある。

学校教育課長 現実問題としてそういった状況がある。出向いた先の学校の状況に応じて付け加えたい。

委員 私たちも現実には人数を見て、いろんな問題が起こるとちらっと先生も言われていたし、ああいった感じなら起こると思う。今、委員が言われたように、現実を見てもらうことがすごく大事、私たちは実際に学校へ行って現実を見て思った。子どもたちも先生も言われなだろうが、アンバランスなことでは

ろな問題が起こることは、人数が少なくなれば少なくなるほど想定できる。それを現実に伝えないとわかってもらえない。

教 育 長 この説明会をしてまとめて、灘手、上小鴨地区には個別に入らせてもらう。また要望のあるところに行かせてもらうことを繰り返して、この3月に向けての計画案を策定する。ここにはスケジュールも入れていつまでということ盛り込んでいきたい。基本的には来年1年でそれぞれの地区の協議会を立ち上げて、問題点等を協議していただく。よし、となれば統合準備委員会の方に立ち上げる。関金の統合準備委員会を見ると、1年間ではかなり厳しい。それを2年見ておけば3年後には出発できる。建築関係の方も2年？

教育総務課長 2年です。今回関金では統合してから校舎等を直すことになったが、出来てから直すのではなく、統合までにそれだけの設備をそろえてスタートするのが本来の姿だと思う。そう考えると2年必要。

教 育 長 スクールバスもやはりそうですね。

学校教育課長 今年はイレギュラーで、本当は昨年希望申請しておいて今年動くのが本来だが、5月に県と協議して、やっていただけた状況。

教 育 長 向こう3年で開校というのがスケジュール的にいけると思う。それくらい見ないとしんどいと思います。逆にアンケートいただいたものを計画案の中に入れ込む、計画が3月に出来るので、来年はこれを説明していく。

委 員 スケジュール的には平成30年4月？

教 育 長 一番早いのはそうなる。一応32年頃まで、長引くところもあるかもしれないが、その都度協議しながらしていきたい。いい話し合いになったと思う。

(2) 平成27年度教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について

教育総務課長 (資料に沿って説明)

学校教育課長 (資料に沿って説明)

給食センター所長 (資料に沿って説明)

委 員 3ページの4の2、倉吉博物館の利用が少ないとのことだが、博物館まで行っての利用のこと？来ていただいたの講演会等は？

博物館長 博物館に来ていただいたの施設利用はそんなにはなかったが、出前授業や国分寺の歴史公園に説明に出掛けていくという利用はあった。

委 員 博物館の利用というのは館としての施設の利用で、全体としてはそれほど少ないわけではない？

博物館長 そうです。

教 育 長 今閉館中ですので、3年生が授業ですね？

博物館長 現在閉館しているが、前半は6年生の歴史の授業のご利用が多く、後半期は3年生の昔の道具という単元での利用があり、展示はあるので、従来どおり対応が出来ると考えている。

学校教育課長 学校へも周知します。

委員 4ページ5の開かれた学校というところだが、一斉公開 2701 人の参加が昨年と比べてどうかというところ、河北小学校は、前は一斉公開の時に参観日もしたから多かったけど、それはしないことにしたということもあったが、そういう意味での参加が多いか少ないというのは様子が分かるかと思った。

あと学校WEBページの更新について、見ると、学校によって見やすいとかあって、もう少し底上げが出来ないかという気持ちもある。例えばトップページで行事が並んでいて、学校の方針などがなかなか出て来ないところもある。トップに行事、方針といけるところがある学校と、それが無くて行事の様子しかない学校とあって、折角なのでもったいない。保護者の方も、意外と子どもたちも見ているし、頑張ってる更新、デザインも含めて見やすい、開かれたページが出来ると嬉しい。

学校教育課長 WEBページについては、平成 22, 23 年頃に教頭研修会などをしたこともある。学校によって取組に差がある。

委員 担当された先生の力量や気持ちに大差があると思う。見て自分たちの学校を知らせるのに、どういうページの構成が見やすいか、工夫されるといいと思う。

学校教育課長 また校長会等でも伝えます。最初にあった一斉公開の人数については、7月の定例教育委員会の資料に出させていただいている。春だけ公開にした 23 年からは全市で 2567、2411、3108、2921、そして本年 2701 人。河北小でいくと 223、254、388、247、222 人といったところで、春については 2 日間公開、学校によっては参観日と兼ねてしているので、参観日の時間帯にどんと増えて、あとはあまり来られないという状況もあるが、ここについては昨年度より全市小中学校併せて 200 人減という状況があるのは事実。

委員 集計の仕方は、学校でもいろいろ工夫されていると思うので、そういう関係もあるかと思うが。確かに中学校と小学校とが参観日がぶつかるなど、学校間の相談が出来ていないのではという意見もあったりしたので、一斉公開に参観日を持ってくることの是非も考えなくてはいけないかという気もする。

学校教育課長 学校としては折角公開にしているの、なるべく来ていただきたいという気持ちです。

委員 くらよし風土記の倉吉検定は年度内にやるのですか？

学校教育課長 ある程度の問題は昨年度から用意しているが。

教育長 モデルでもいいですから。

学校教育課長 では 1 校でも 2 校でも。

委員 4ページの開かれた学校推進の中に地域学校委員会というのが。ここでいろいろな学校の問題を協議されていると思うが、以前ある小学校のことが、議会で放送されたことを聞いて違和感があった。小学校で出たものを学校長に相談したり、地域学校委員会で相談したり、市の教育委員会と、その辺順序立てずに余計な詮索をする人が多いことが耳に入ってきた。いろいろ理由があつて言われたと思うが、子どもたち、先生方、父兄に余計な変な心配を掛ける

ようなことだったと思うが、地域学校委員会というもののあり方というのがどうなのだろうと感じた。

学校教育課長 その件については、私も学校に行き、こうやって取り組んでいるというスタンスでいるしかないときちんと説明して、それに答えるような学校作りをして欲しいということを行った。実はその後、地域学校委員会を開催して、該当の学校はこういう状況ということを見ていただいて、その上でご意見をいただき、出来ることがあれば、と行っていただいている。そういう部分では、こちらとしても問題が起こったときに、PTA会長との相談、地域学校委員会会長さんとの相談というようなところも踏まえながら、味方になっていただける、支えていただける、学校がいい加減にしていれば、厳しい言葉もいただき、二人三脚で一緒になって子どもを育てたいという意識でやっていただいているという状況があちこちであるので、学校も問題を隠していいところを見ていただくのではなく、問題をみていただいて、地域で一緒に子どもを育てていく協力者を増やしていける場になっていると思っている。

委員 地域学校委員会のあり方というものが今おっしゃったことだと思う。一番学校に関心を持っていただいて、なるべくならそういう中で解決できればいいと思うので、すぐ対応されたということであれば、安心しました。

学校教育課長 ある学校で子どもが行方不明になったときに、地域学校委員長さんに報告する前に見つかったということがあって、会長さんは「相談して欲しかった」と、ただ翌日すぐ動いていて、わかった、という話になった。そういう意識で見守って下さっているというのは非常にありがたいと思う。

委員 地域学校委員になられた方はそういう思いが強い方だと思うので、相談しながら地域の学校をお互いによりよくしていくようなればと感じた。

教育長 食育教室は前期で何回くらいされたか。回数を入れてもらうとよく分かるのでお願いします。あとエアコンの修理工事も入れてもらいたい。

生涯学習課長 (資料に添って説明)

委員 自転車競技場は順調に進んでいるか。

生涯学習課長 順調に進んでいる。県と県が出資している県体協を通じて施設整備を行っている。施設の方では管理棟を解体して、来年に向けて整備するように面積を広げる、機能を増やしていくような観点で整備に移っている。あわせて競技場の走路の修理工事もこれから行う。来年に向けて競技場のすぐ近くにJAの所有地だが、駐車場部分ということで既に基本的な整備はしている。ただ、それ以外のところで若干整備して欲しいというところがあったりするので、細かなところだが、舗装の充実だとか段差が残っているという部分の追加を県に要請したい。基本的には順調に進んでいる。

委員 わかりました。

文化財課長 (資料に添って説明)

博物館長 (資料に添って説明)

- 図書館長 (資料に添って説明)
- 教 育 長 JAXAの講演会は何人くらい来られたか?
- 図書館長 50人程。夏休み後半だったので追加でPRが出来なかったもので、そこが残念だった。
- 教 育 長 10月の金原瑞人さんの講演会は?
- 図書館長 これは80人くらい。翻訳家の方で、最初取っつきにくいかと思っただが、みなさん熱心に聞いていただいた。
- 教 育 長 こういう数字もしっかり書き込んでください。

6 報告事項

- (1) 平成27年度教育費補正予算(平成27年10月)について
(教育総務課長、学校給食センター所長 資料に沿って説明)
- (2) 教育総務課 (教育総務課長 資料に沿って説明)
 - ① 鳥取県市町村教育委員会研究協議会の会長辞任に伴う措置について
- (3) 学校教育課 (学校教育課長 資料に沿って説明)
 - ① 不登校・問題行動の状況について
 - ② 菜の花プロジェクト協働区域の種子散布について
 - ③ 菜の花プロジェクト関係機関訪問について
 - ④ 平成27年度倉吉市教育講演会報告について
- (4) 生涯学習課 (生涯学習課長 資料に沿って説明)
 - ① くらよし女子駅伝競走大会・日本海駅伝競走大会の結果について
 - ② 第7回「家庭の日」絵画作品審査の結果について
 - ③ 第37回「少年の主張」鳥取県大会の結果について
 - ④ 倉吉市生涯学習講座「みち」をきわめる特別講座について
 - ⑤ 平成27年度倉吉市民体育大会 結果報告
- (5) 文化財課 (文化財課長 資料に沿って説明)
 - ① 打吹玉川伝統的建造物群保存地区における火災について
 - ② 鳥飼家住宅・倉吉淀屋利用状況
 - ③ 鳥飼家一般公開の報告
- (6) 倉吉博物館 (博物館館長 資料に沿って説明)
 - ① 倉吉博物館講座事業報告について
- (7) 倉吉市立図書館 (図書館長 資料に沿って説明)
 - ① ブックスタート先進地視察を実施
 - ② エントランスに広告掲示板を設置
 - ③ 平成27年9月倉吉交流プラザ・ふれあい広場利用状況
- (8) 学校給食センター (学校給食センター所長 資料に沿って説明)
 - ① 学校給食費の滞納整理の流れについて
- (9) 市民からの声対応状況(学校給食センター所長、学校教育課長 資料に沿って説明)

7 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成27年11月24日（火）午後3時

場 所：倉吉市役所 第2会議室

午後5時10分 終了